

よどよんだより

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yodobashi4/>

平成27年11月30日

淀橋第四小学校 校長 権田 伸子

《12月の生活目標》

学校をきれいにしよう

温かい言葉

校長 権田 伸子

11月28日の展覧会では、多くの保護者・地域の皆様においでいただき、子ども達の作品をご鑑賞いただきましたこと、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。どの学年も一人一人が自分の思いを図画工作科や家庭科の作品に込め、丹念に仕上げました。幼稚園から小学生、3歳から12歳までの発達段階に合った作品をご堪能いただけたことと思います。

さて、12月10日は「世界人権デー」です。昭和23年に国際連合が世界人権宣言を採択した日です。これを受け、人権デーを最後とする1週間を「人権週間」と定めさまざまな取り組みが行われています。

本校では、本年度、「自己を見つめ、他者を理解できる児童の育成～言語活動と通じて～」をテーマとし、校内研究に取り組んでいます。この研究のなかで、親和的によりよくかかわれる集団形成のためのソーシャルスキルトレーニングや「あったか言葉」に取り組みました。「あったか言葉」とは、「ふわふわ言葉」ともいわれ、人の心を温かくする心のこもった言葉です。例えば「ありがとう」「ごめんね」「すごいね」「大丈夫だよ」などの、あいさつの言葉、お礼の言葉、励ましの言葉、お詫びの言葉、いたわりの言葉などがあります。反対に、「うざい」「きもい」「消えろ」などは、「ちくちく言葉」「とげとげ言葉」ともいわれ相手を傷つけるだけでなく、自分の心を貧しくする言葉です。このような言葉遣いを考えることも人権感覚を磨く第一歩です。

人権感覚を磨く機会は学習の中にもたくさんあります。例えば、発言の仕方として「〇〇さんの意見に付け足しです。」というように友達の考えにつなげて発言させるようにすると互いに自分の考えが大切にされていることを実感できます。また、グループで体験する、互いに教えあう、友達の良いところを見つけるなど、お互いが認めあう活動を多く設定しています。

『人権』は誰にとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるものだと思います。心で理解しあい、心で感じあえる、温かい言葉のあふれる淀四小にしたいと思います。



展覧会では、多くの保護者・地域の方にご来校いただきました。

算数担当より 算数担当 菊池 紘之

今年度も半ばを過ぎ、授業の中から子ども達の成長を感じることが多くあります。問題の解き方を「みんなの前で説明したいです」とホワイトボードに書き込みながら上手に説明をする子、次の授業に遅れるのでは？と心配してしまうくらい問題を解くのに熱中している子も。更に…と、書ききれないくらいの嬉しいエピソード満載です。

ところで、『下町ロケット』という小説やドラマからは、確かな技術や知識が日本の科学技術を支えているのだと再認識させられます。一方で、基礎的な研究は人気が無くなってきているというデータもあるようです。そんな中、本校のある6年生がこんなことを話していたそうです。「 $0 < x, y$ のとき、 $x - y = 1$ になるようにすると、 $x^2 - y^2 = x + y$ になる…」と。高校数学を知っていれば、何のことはないのですが、それを自由な思索の中から見つけ出したことの素晴らしさ！こうした発想が将来に様々な技術などにつながっている、と考えるとその瞬間に立ち会えていることはとても幸せなことだなと感じています。

さて、発想の基となる知識を定着させるために欠かせない反復演習は、どうしても学校の授業の時間だけでは十分ではない面があります。ぜひ、ご家庭での引き続きのご協力をお願いします。

図工担当より 図工担当 峰岸 志保

11月27日、28日の展覧会には、お忙しい中、たくさんの皆様にご参観いただき、ありがとうございました。

展覧会の作品は、この半年における子供たちの活動のいわば「結果」ということになるのかもしれませんが。

けれども、日々の図工の授業で大切にしたいと思うことは、「結果」よりも「プロセス（過程）」にあると考えています。作品作りを通して、子ども達が発見したこと、体を使ってたくさん試行錯誤したこと、友達との関わりの中で学んだことなど、一人一人の歩んだ時間にこそ、学びの豊かさがあるのだと思っています。

また、子ども達と一緒に図工の時間を過ごす私には、目を輝かせて作っていく様子や、作り上げた時の満足した誇らしい表情や、うまくいかなくて困り果てた姿など、子ども達の姿がたくさん心の中に残りました。

図工の目標には「作り出す喜びを味わう」という文句があります。これは他の教科にはない、図工ならではのものです。そして「作り出す喜び」というのは、自分で作ろうとするからこそ、味わうことができるのだと思います。

これからも子ども達には、自分の心と体で感じながら図工の時間を楽しんでほしいと願っています。

つながる心と心

4年担任 竹山 朱美 後藤 藍子

総合的な学習の時間では、自分たちができることを考え、高齢者の方々との関わりを深めました。高齢者疑似体験や高齢者施設で働く職員の方から伺ったお話をもとに、高齢者の方々との交流の仕方について話し合い、準備をしました。高齢者施設を訪問すると「待ってました!」「アンコール!!」と温かく迎えていただき、交流後には涙してくださる方もいらっしゃいました。笑顔いっぱい交流となりました。

この学習は「相手の立場に立って物を考えることの大切さ」を実感し、「心と心がつながる喜び」を経験する貴重な機会となりました。来春には5年生になる子ども達です。低学年を思いやる優しく頼もしい高学年になることでしょう。

冬休みの生活について

生活指導主幹教諭 三谷 純子

いよいよ冬休みが近づいてきました。今年は12月26日(土)から1月7日(木)までの13日間です。短い休みですが、年末・年始をはさみ1年の締めくくりと新年の新たな気持ちをもつ大切なお休みです。有効にそして計画的に過ごすようお願い致します。

冬休みは、家族で過ごす時間が多くなります。この機会に子どもとゆっくり家族の約束など話し合うことも大切かと思えます。例えば、お金の大切さや言葉遣いなど普段なかなか話せないことや防犯や災害など家庭での約束を確認する貴重な時間となります。最近、子どもを狙った犯罪も増えています。子どもだけで繁華街に行かせないこと、遊んでいる場所や帰りの時刻を確認することなど、お子さんを危険から守り、安全で楽しい冬休みを送っていただきたいと思います。休み中に不審者などに遭遇したり、交通事故に遭ったりした時はすぐ110番通報していただくよう、お願い致します。



～感謝の会より～

毎年、日頃お世話になっている方々をお招きし、感謝の手紙をお渡しする会を開いています。今後ともよろしくお願い致します。



12月の行事予定



日	曜	朝	行 事 予 定	その他
1	火	全	安全指導・点検日 なわとび週間始	
2	水	学	午前授業	淀四スタディ
3	木	♪読	3-1のみ5時間授業	学校運営協議会
4	金	体		
5	土			算数検定 スポカル広場
6	日		A週	スポカル広場
7	月	♪朝	全校清掃活動、クラブ⑫	PTA 運営委員会
8	火	読		
9	水	学		淀四スタディ
10	木	♪読		
11	金	体	なわとび週間終 ハートフルデイ	
12	土			スポカル広場
13	日		B週 子どもの音楽会	スポカル広場
14	月	♪朝	委員会	
15	火	読	保護者会(4・5・6年)	
16	水	学	専科授業終	
17	木	♪読		
18	金	児	保護者会(1・2・3年)	
19	土			スポカル広場
20	日		A週	スポカル広場
21	月	♪朝	クラブ⑬	
22	火	読	給食終	
23	水		天皇誕生日	
24	木		午前授業(水曜時程) 給食なし	
25	金		終業式(水曜時程)大掃除	
26	土		冬季休業日始	スポカル広場

今月の避難訓練は、「予告無し」で実施のため、行事予定には記載していません。

- 書き初め・・・1月6日(水) 10:00～12:00
淀四ルームにて(上履きを持ってきてください)
- 3学期始業式・・・1月8日(金)
8:30より体育館にて(8:15登校、12:15頃下校)
- 2年1組担任 牧 富貴子教諭はこの度懐妊が判明しました。つきましては体育指導を外部講師である、前田才(まえだとしき)講師、伊東祐紀(いとうゆうき)講師が行います。